

8. 普及事業

8.1 テクノTOKYOフェア2004 in Shinjuku

研究の成果を都民および企業へ普及するために、研究成果の発表会と展示会を開催した。

1) IT・エレクトロニクス技術セミナー

開催月日 平成16年10月4日(月)
会 場 都議会議事堂1階(都民ホール)
参加者 179名

講演

超小型 IC タグ・ミューチップの開発と今後の可能性
井村 亮 氏(株)日立製作所 情報・通信グループミューソリューションズ事業部長)
「IC タグ」における開発の苦労談と応用例についての講演。

研究発表

簡易で使いやすい電気メステスタの開発
岡野 宏(エレクトロニクスグループ)
実用性が高く、小型で軽く、持ち運びにも便利な電気メステスタを開発しました。輸入高級機と同程度の性能を持ち、価格は約1/2になりました。
口腔内検査用カメラの開発
大畑 敏美(情報科学グループ)
カメラの電子シャッターと発熱を抑えた発光ダイオード(LED)が連動する、照明方法を開発しました。人の口腔内に限らず、天井裏など入り口の狭い場所の内部点検などに利用が期待されています。
マイクロ検査チップを目指したソフトリソグラフィ技術
工藤 寛之(エレクトロニクスグループ)
チップの作製から流体制御、観察までを特殊な装置を用いることなく実現しており、都内中小企業が同分野へ参入する際の技術的な支援を可能にしました。
アプリケーションベースの組み込み制御システム
武田 有志(情報科学グループ)
産業用ロボットや物流ラインは、組み込み制御システムによって支えられています。その中心を担うコントローラの開発について、新しい手法を確立しました。

2) 研究成果の展示

開催月日 平成16年10月4日(月)~6日(水)
会 場 東京都議会議事堂1階(都政ギャラリー)
参加者 467名

No	展示品	説明	担当者	担当先
1	口腔内検査用カメラ	CCD カメラ先端部分の小型化と、カメラのシャッター開放タイミングに同期してLED発光させることでLEDの発熱を抑え、効率的な照明を行うことができました。	大畑 敏美	情報科学グループ (西が丘庁舎)
2	アプリケーションベースの組み込み制御システム	要求される応答性を考慮したプログラムに合わせたアーキテクチャの生成を行うという逆発想の、制御用マイコン=コントローラの構築技術の紹介です。	武田 有志	情報科学グループ (西が丘庁舎)
3	アクティブRFIDによるユビキタスコンピューティングシステム開発	アクティブRFIDに様々なセンサを搭載して、環境情報の収集、機器間の通信から機器の制御などを行うことができる技術の紹介です。	大林 真人	情報科学グループ (西が丘庁舎)
4	高輝度・高効率照明器具	従来の蛍光灯と比べて色温度が6400(K)と演色性が良く、約90(lm/W)の高効率です。また、灯具を含めた発熱が極めて少ないため、空調温度の大幅な低減ができ、総合的に省電力化を図ることができる蛍光灯です。	滝田 和宣	技術試験室 (西が丘庁舎)
5	簡易で使いやすい電気メスタの開発	病院等で使用する電気メスの出力・漏れ電流などの電氣的測定を簡易的にチェックする機能を有し、電気メスのトラブルを未然に防止できる装置ができました。	岡野 宏	エレクトロニクスグループ (西が丘庁舎)
6	流体チップの開発	医療検査チップや試薬合成システムとしての応用が期待される流体チップの動作モデルを展示します。	加沢エリト	エレクトロニクスグループ (西が丘庁舎)
7	植物育成用LED光源	LEDを多数配列した植物育成用光源を作製しました。駆動回路は、一般家庭用100V電源で直接、LEDを駆動できるようになっています。	小林 丈士	エレクトロニクスグループ (西が丘庁舎)
8	プリズムボードシステムによる内照式看板の省エネ化	駅などに設置されている広告用内照式看板について、プリズム棒と高反射板を用いることで、広告面の輝度ムラの改善と蛍光ランプの本数を減らすことによる省エネを実現しました。	岩永 敏秀	光音計測技術グループ (西が丘庁舎)
9	動吸振器を用いた超音波式洗浄機の騒音低減	超音波洗浄機の洗浄槽に動吸振器を取り付けることにより、洗浄液自体の共振を抑制し、耳障りな騒音を低減することができました。	神田 浩一	光音計測技術グループ (西が丘庁舎)
10	草炭からの吸水性材料の開発	草炭を原料とした吸水性材料が配合された土壌改良材と脱臭剤を作製しました。製品形態として、土壌と植物の種子を仕込んだ缶詰や、プラスチック製の注射筒に脱臭剤を仕込んだ脱臭器を試作しました。	山本 真	材料技術グループ (西が丘庁舎)
11	三宅ガラスの開発	ガラス原料の一部に三宅島の火山灰を用いて、火山灰の効果で泡剤を使わず、クリアな青色の美しいガラス製品ができました。	上部 隆男	材料技術グループ (西が丘庁舎)
12	三宅ガラスジュエリー	三宅ガラスをジュエリー用にカット・研磨したものです。三宅島火山灰の生み出す独特の青色は従来の宝石にはない色で、新しい宝飾品として活用が期待されます。	上部 隆男	材料技術グループ (西が丘庁舎)
13	べっ甲端材の再生技術	べっ甲原料輸入停止対策として、べっ甲端材の再生技術の確立および艶付け等の対策としての表面処理技術の開発しました。	浅見 淳一	加工技術グループ (西が丘庁舎)
14	クエン酸ニッケルめっき	ホウ素規制に対応して開発したホウ酸を使用しない「クエン酸ニッケルめっき浴」の優れた特徴をアピールし、めっき業界への普及を図ります。	土井 正	資源環境科学グループ (西が丘庁舎)
15	廃プラスチックと雑誌古紙から調製した環境浄化材	リサイクルが難しい廃プラスチックと雑誌古紙から炭素系パネルを開発しました。このパネルには、有害物質を吸着する能力を付与することができました。	瓦田 研介	資源環境科学グループ (西が丘庁舎)

No	展示品	説明	担当者	担当先
16	天然物を利用した環境調和型接着材の開発	天然資源の絹タンパクを用いた木材用接着剤の開発を行いました。接着耐水性の向上には、エマルジョン型イソシアネートの添加が有効であることがわかりました。	瓦田 研介	資源環境科学グループ (西が丘庁舎)
17	繊維製品の防かびとかび汚染除去技術の開発	産業用不織布について、食品添加物や天然由来物を用いて防かび加工ができました。また、かびの色素汚染除去に有効な酸化漂白剤の条件を見出しました。	中村 宏	資源環境科学グループ (西が丘庁舎)
18	塩基度調整剤としてのガラスびんカレットの有効利用	減容化・安定化・資源化の目的で、ごみ焼却灰を溶融してスラグにします。溶融の際に塩基度調整剤として使う砂の代わりにガラスびんカレットを利用することを検討しました。	小山 秀美	資源環境科学グループ (西が丘庁舎)
19	産学公連携・共同開発研究	企業と大学と公設試験研究機関とを結びつけるコーディネート事業及び共同開発研究の成果事例について、紹介します。	伊瀬 洋昭	産学公連携室 (西が丘庁舎)
20	超軟 X 線を利用した極薄厚さ計	極薄の紙やフィルム厚さを測定するための X 線厚さ計を試作し、適用限界を明らかにした。	鈴木 隆司	駒沢分室 (駒沢庁舎)
21	新しい放射線遮へい材	鉛を含まず、加工性に優れたゴム製放射線遮へい材を開発しました。放射性医薬品が使用されている核医学の分野での遮へい材および原子力施設で点検時に使用されている鉛入りの遮へいマット、手荷物検査用 X 線装置の遮へい材等の代替品として製品化が可能です。	鈴木 隆司	駒沢分室 (駒沢庁舎)
22	照射食品検査技術の開発	食品への放射線の照射歴を判定する技術を開発し、依頼試験や行政検体の検査に活用している。食品の種類に応じて 3 つの検査法を実用化しました。	後藤 典子	放射線応用技術グループ (駒沢庁舎)
23	信頼性の高い放射線滅菌	医療器材の放射線滅菌(ガンマ線、電子線)法について紹介する。本法は、酸化エチレンガス滅菌に比べて、完全性、安全性などの点で優れており、普及が進んでいます。	細淵 和成	放射線応用技術グループ (駒沢庁舎)
24	脚形疲労試験機の開発	ズボンの型崩れを評価するために人間の脚の特徴をもった脚形疲労試験機を開発しました。これにより、ズボンの耐久性試験の効率化が図れました。	大泉 幸乃	生活科学グループ (墨田庁舎)
25	簡易避難服の開発	生活者対応型の簡易避難服を開発しました。これにより、どのような服の上からでも着用でき、避難時に必要とされる物品を収納できる製品が得られました。	平山 明浩	生活科学グループ (墨田庁舎)
26	中高年用スラックスの開発	中高年男性の加齢による体形変化に対応したスラックスを開発しました。これにより、ウエスト周りをすっきり見せるとともに体形をカバーする製品が得られました。	藤田 薫子	生活科学グループ (墨田庁舎)
27	カレイドスコープデザインの皮革製品	当所が開発したカレイドスコープを応用した「KS・プリントシステム」を活用して、高感度な皮革素材のファッション製品を開発しました。	北原 浩	相談広報室 (西が丘庁舎)
28	ユニバーサルデザイン	「高齢者・障害者配慮設計指針」という新たな JIS が多く制定されている。その中から、包装・容器に用いられている配慮事項を例に取り上げ、「ユニバーサルデザインとは何か」について紹介する。	阿保友二郎	製品科学グループ (西が丘庁舎)
29	銀めっき繊維の消費性能(ニット製品、パネル)	導電性とシールド性の相関を検討し、電磁波シールド用ニット製品の着用、洗濯による性能変化を調べました。油脂分を除去し、物理的作用の少ないメンテナンス方法を提案しています。	松澤 咲佳	墨田分室 (墨田庁舎)
30	複合素材の染色用キャリアの染色	ポリエステル・羊毛複合素材の低温(100)染色用キャリアの性能評価を行いました。省エネルギー効果があり、羊毛の熱損傷を回避できるキャリアを選定することが出来ました。	藤代 敏	墨田分室 (墨田庁舎)

31	再生ポリエステル原料の改質と複合繊維化	ペットボトルリサイクル製品において、高付加価値化と再生原料比率の向上を両立していくことが重要と考えられます。再生原料を改質することにより、リサイクル率 100%の複合捲縮糸を開発しました。	山本 清	八王子分室 (八王子庁舎)
32	耐熱金属系の立体構造織物	従来の表面燃焼バーナー用マットは、短い金属糸による不織布で、燃焼時に繊維のカスが飛散する等の問題点がありました。その欠点を克服する為、長い金属糸を用いて立体的な金属織物を開発しました。	樋口 明久	八王子分室 (八王子庁舎)
33	皮革のインクジェットプリント	皮革製品に対し、インクジェットプリントを行い、樹脂加工を行わずに高堅牢度を付与する方法について検討しました。	吉田 弥生	八王子分室 (八王子庁舎)

8.2 研究発表会

前年度までに得られた試験、研究、調査等の成果を発表し、これらの成果の普及を図るため、2会場（西が丘、墨田）に分けて研究発表会を開催し、併せて、要旨集を発行した。

開催月日	会場名	発表テーマ数	来聴者数
平成 16 年 6 月 15 日(火)	西が丘庁舎 第 2～4 教室	27	71 名
平成 16 年 6 月 16 日(水)	西が丘庁舎 第 2～4 教室	22	93 名
平成 16 年 6 月 22 日(火)	江戸東京博物館 会議室	12	88 名

平成 16 年 6 月 15 日(火) 西が丘庁舎 第 2 教室
エレクトロニクス

	題目	発表者 (印は講演者、[]は産業技術研究所の各技術グループ)
1	超極細温度センサの開発とその特性	尾出 順・水野裕正[技術試験室]、童子俊一(株)日本熱電機製作所)、小川実吉(東京都技術アドバイザー)
2	自転車用中距離位置検出装置の研究開発	天早隆志[エレクトロニクスグループ]、寺井幸雄(都城南地域中小企業振興センター)、清水康弘(都水道局)、神谷泰仁・川内野博(マキー・エンジニアリング株)
3	製造ライン用センシング回路の小型モジュール開発	小林丈士[エレクトロニクスグループ]、平塚尚一(都多摩中小企業振興センター)、伊藤 清[企画調整課]、五十嵐美穂子[エレクトロニクスグループ]
4	プロット型自動植毛装置の開発	山本克美[エレクトロニクスグループ]、殿谷保雄(都城東地域中小企業振興センター)、重松宏志[情報科学グループ]、栗原秀樹・山口 勇・御代川喬志[エレクトロニクスグループ]
5	マイクロエアブリッジヒータを用いた熱式風速計の試作	八坂慎一・大屋誠志郎・三橋雅彦・金子 智・伊藤 健(神奈川県産業技術総合研究所)、菅野洋一(株)アイ電子技研)、相京幸保・小室真一・大林一也(株)フラット電子)、木村光照(東北学院大)
6	ネットワークを活用したクリーンルーム室圧制御装置の開発	平塚尚一(都多摩中小企業振興センター)、天早隆志[エレクトロニクスグループ]、山本篤彦・京極慎一(岡谷成立工業株)
7	電気メステスタの開発と評価	岡野 宏・河村 洋[エレクトロニクスグループ]、富樫昌之(エクセル株)、高柳正晴・小野哲章(神奈川県立衛生短期大)

平成 16 年 6 月 15 日 (火) 西が丘庁舎 第 3 教室

材 料

	題 目	発 表 者 (印は講演者、[]は産業技術研究所の各技術グループ)
1	ホウ珪酸塩系無鉛化低融点ガラスコーティング膜	田中 実・上部隆男・陸井史子[材料技術グループ]、大久保一宏[企画調整課]、伊東洋一[製品科学グループ]、小島大介・小野順三郎・小川泰弘(株)日本珪瑯釉薬)
2	メタリン酸亜鉛を原料としたリン酸塩ガラスの作製とその性質	上部隆男・田中 実・陸井史子[材料技術グループ]、柏原裕介(芝浦工大)
3	微量元素添加によるリサイクル鋼の高温加工特性改善	上本道久[材料技術グループ]、長崎千裕(東大大学院)
4	高性能水素吸蔵合金の開発	内田 聡[加工技術グループ]、三尾 淳(都産業労働局)
5	低品位アルミニウム合金ダイカストの半熔融成形加工	渡部友太郎・佐藤健二[加工技術グループ]
6	き裂治癒能力を有する Al ₂ O ₃ /SiC ウィスカ系複合材料の開発	横内正洋(神奈川県産業技術総合研究所)、李 相起・高橋宏治・安藤 柱(横浜国立大)
7	錯視柄の配色構成によるデザイン展開	秋田 実[製品科学グループ]、小高久丹子・大橋健一[生活科学グループ]
8	古紙パルプ繊維の微粒子化	島田勝広[製品科学グループ]、戸田直子・岡山隆之(東京農工大)、小名俊博(九州大)

平成 16 年 6 月 15 日 (火) 西が丘庁舎 第 4 教室

評価技術

	題 目	発 表 者 (印は講演者、[]は産業技術研究所の各技術グループ)
1	タッピンねじ用締付け試験機の開発	舟山義弘・小島丈廣[技術試験室]
2	光電測光式発光分光分析装置を利用したマグネシウム合金分析法の開発	佐々木幸夫・石田直洋[材料技術グループ]、佐藤健二[加工技術グループ]
3	ゲート着磁方法によるプラスチック金型内高速樹脂流動の可視化技術の確立	阿部 聡(都城南地域中小企業振興センター)、清水研一[材料技術グループ]、横井秀俊(東大)、村田泰彦(日本工業大)
4	ポリカーボネートの亀裂成長の予測方法	清水研一[材料技術グループ]、阿部 聡(都城南地域中小企業振興センター)
5	神奈川産総研における表面分析の現状と評価事例について	熊谷正夫(神奈川県産業技術総合研究所)
6	MRI を用いた麺類の新たなテクスチャー評価法	小島登貴子・仲島日出男(埼玉県産業技術総合センター)、堀金明美・吉田 充(独)食品総合研究所、前田竜郎(株)日清製粉グループ本社 基礎研究所)、永澤 明(埼玉大)
7	紫外放射測定技術の開発	實川徹則・山本哲雄・岩永敏秀・中島敏晴・林 国洋[光音計測技術グループ]
8	クロロフェノール類の電子付着による分解効率の検討	中川清子[放射線応用技術グループ]
9	信頼性・安定性に優れたプラスチック吸収型ラドン測定装置の試作	斎藤正明・谷崎良之[放射線応用技術グループ]
10	超音波探傷試験 T O F D 法に関する実験	細谷昌裕・立川克美・斉藤一夫・長瀬尚樹(千葉県産業支援技術研究所)、藤岡克美・宇田吉臣・井門良雄(株)シーエックスアール)、林 栄男(株)検査技術研究所)
11	磁粉探傷試験における異材境界指示と傷検出性	伊藤 清[企画調整課]
12	X線照射による高分子材料の劣化と吸収線量の評価	関口正之・細瀬和成[放射線応用技術グループ]、榎本一郎[生活科学グループ]

平成 16 年 6 月 16 日 (水) 西が丘庁舎 第 2 教室
ナノ・マイクロテクノロジー

	題 目	発 表 者 (印は講演者、[]は産業技術研究所の各技術グループ)
1	導電性セラミックスによる放電表面処理	鈴木岳美・山崎 実[加工技術グループ]、仁平宣弘(都多摩中小企業振興センター)、基 昭夫(都城東地域中小企業振興センター)
2	マイクロ放電加工法を用いたマイクロツールの開発	山崎 実・鈴木岳美[加工技術グループ]、國枝正典(東京農工大)
3	超音波援用による摩擦熱を利用した CVD ダイヤモンド膜研磨の検討	横沢 毅・片岡征二・玉置賢次[加工技術グループ]、加藤光吉[計測応用技術グループ]、仁平宣弘(都多摩中小企業振興センター)、基 昭夫(都城東地域中小企業振興センター)、長谷川徳慶(都総務局)
4	超磁歪素子を用いたハンディ超微小硬さ測定機の開発	荻野重人(埼玉県産業技術総合センター)、廣瀬正一(津田工業㈱)
5	マイクロレーザー変位計を用いたマイクロ流量センサーの開発	揚 振[パイオ・ナノ技術開発プロジェクト]、松本壮平・曹 俊杰・前田龍太郎((独)産業技術総合研究所)
6	マイクロ流体チップの低コスト製造技術の開発	工藤寛之・加沢エリト・渡邊耕士[エレクトロニクスグループ]

平成 16 年 6 月 16 日 (水) 西が丘庁舎 第 3 教室
I T

	題 目	発 表 者 (印は講演者、[]は産業技術研究所の各技術グループ)
1	実時間制御用の組込みアーキテクチャ生成方式の検討	武田有志・坂巻佳壽美[情報科学グループ]
2	組込み OS を活用したセキュリティカメラ装置の開発	佐藤正利[エレクトロニクスグループ]、大畑敏美[情報科学グループ]、加世田光義((有)カセダエンジニアリング)
3	組込み Java を用いた LAN 経由による遠隔制御・監視システムの開発	高野哲壽・坂巻佳壽美[情報科学グループ]、辻 哲司・三上俊一(ユニコテクノス㈱)
4	3次元 CAD/CAM/CAE を利用した設計支援システムの構築	松田 哲・園田 卓・大久保富彦・竹尾 順・白銀泰久[製品科学グループ]
5	訪問看護業務支援システムの紹介	小森谷廣子・石田博之・伊東秀高(神奈川県産業技術総合研究所)、渡部良夫(㈱ナーシング・ケアサービス・システム)
6	IP 通信拡散法による高セキュリティ VPN 装置の性能評価	森田俊英(埼玉県産業技術総合センター)、桧垣博章(東京電機大)、木村隆則(㈱エルウイング)、成山紘一(不二エレクトロニクス㈱)
7	バーチャル公設試の XML 化	北原 枢・土屋敏夫[産学公連携室]

平成 16 年 6 月 16 日 (水) 西が丘庁舎 第 4 教室
環 境

	題 目	発 表 者 (印は講演者、[]は産業技術研究所の各技術グループ)
1	動吸振器を用いた超音波洗浄機の騒音低減	神田浩一[光音計測技術グループ]、長谷川徳慶(都総務局)、中田 修・平間麻子・高田省一[光音計測技術グループ]
2	イオンクロマトグラフィーによる燃料油中の低濃度硫黄分の定量	野々村誠・小山秀美[資源環境科学グループ]、伊瀬洋昭[産学公連携室]
3	工場排水中のふっ素の除去	大塚健治・長谷川明良・小坂幸夫[資源環境科学グループ]、永嶋 茂[前資源環境技術グループ]
4	産業用不織布の防カビ加工方法の改善	宮崎 巖・中村 宏・茨田正孝[資源環境科学グループ]、添田 心[生活科学グループ]

5	エマルジョン型イソシアネートを用いた環境調和型接着剤の開発	瓦田研介・飯田孝彦・大塚健治・長谷川明良[資源環境科学グループ]
6	ホルムアルデヒドの放散とその換気特性	石丸 章(神奈川県産業技術総合研究所)
7	環境適応型スプレー塗装技術の検討	木下稔夫[製品科学グループ]、鈴木雅洋[企画調整課]、伊東洋一[製品科学グループ]、東京工業塗装協同組合
8	廃プラスチックの石油化学原料化	松本佳久・高橋 亮・高見和清・井野晴洋・木村皓一(神奈川県産業技術総合研究所)、西野順也・伊東正皓(石川島播磨重工業㈱)
9	環境負荷の少ないモーダルシフトの技術的課題	伊瀬洋昭[産学公連携室]、神田浩一・加藤光吉[光音計測技術グループ]、御代川喬志[エレクトロニクスグループ]、金岡 威(都中小企業振興公社)

平成 16 年 6 月 22 日 (火) 墨田会場
繊維技術部門

	題 目	発 表 者 ([] は産業技術研究所の各技術グループ)
1	着用状態を想定した脚形疲労試験機の開発	大泉幸乃[生活科学グループ]
2	簡易避難服の開発	平山明浩[生活科学グループ]
3	ゆかた・手拭データベースを応用した製品企画支援	北原 浩[相談広報室]
4	錯視柄の配色構成による衣服デザイン展開	秋田 実[製品科学グループ]
5	流行着物「銘仙(めいせん)」 -その製造技術とデザインの変遷を探る-	新井正直(群馬県繊維工業試験場)
6	手芸用ビーズを用いたからみ織物開発研究	笠原 力(群馬県繊維工業試験場)
7	繊維に対するかびの色素汚染除去	中村 宏[資源環境科学グループ]
8	ポリエステル・羊毛複合素材の染色用キャリアーの性能評価	藤代 敏[墨田分室]
9	環境汚染負荷が少ない溶剤による繊維柔軟剤の分析技術	榎本一郎[生活科学グループ]
10	導電性繊維の消費性能	松澤咲佳[墨田分室]
11	再生ポリエステル原料の改質と紡糸成形技術	山本清志[八王子分室]
12	金属繊維を活用した立体構造織物の開発	樋口明久[八王子分室]

8.3 施設公開

当所の主要施設、設備を中小企業及び都民に公開し、各種事業の理解を得るとともに、産業技術の普及を図るため施設を公開した。

施設公開のキャッチフレーズを次のとおり設定し、施設公開の普及に努めた。

「咲かせよう ここから生まれる技術の芽」

入場者数は全庁舎合計 3,531 名（西が丘庁舎 1,646 名、駒沢庁舎 420 名、墨田庁舎 509 名、八王子庁舎 956 名）であった。

1) 公開日

西が丘庁舎	平成 16 年 9 月 8 日(水)、9 日(木)
駒沢庁舎	平成 16 年 9 月 17 日(金)、18 日(土)
墨田庁舎	平成 16 年 10 月 20 日(水)、21 日(木)
八王子庁舎	平成 16 年 10 月 13 日(水)、14 日(木)

2) 公開内容

(1) 西が丘庁舎

交流事業の紹介（第 1 会議室）

東京都異業種交流事業と産業技術研究所の技術研究会の紹介

広域連携（各県公設試）の紹介（第 2 会議室）

公設試とバーチャル公設試（テクノナレッジフリーウェイ）の紹介

他庁舎の事業内容・研究成果品・特許関連の紹介（第 4 会議室）

駒沢・墨田・八王子の各庁舎の紹介

共同開発研究成果品の展示

当所が取得した特許の活用紹介、技術審査事業の紹介

（財）東京都中小企業振興公社の紹介（第 4 会議室）

城東地域・城南地域・多摩中小企業振興センターの紹介

東京しごとセンター・技術専門校紹介（ものづくりネットワーク促進室）

東京しごとセンターや板橋・赤羽技術専門校の案内

小学校団体見学への事業説明（講 堂）

苗木の配布（本館玄関前）

ブルーベリー、しゃくなげの配布（各日 175 本）

体験教室

熱転写プリント（生地にプリント）、IC 工作教室（電子オルゴール製作）いろいろなものを測る（精密測定）、氷のシャボン玉作り、三次元 C A D 体験 他

(2) 駒沢庁舎

記念講演（講堂）

9 月 18 日(土)

「放射線の最新の医学利用」

- 身近な放射線利用 - 東京都老人総合研究所 佐々木 徹 氏

- P E T 画像診断 - 東京都老人総合研究所 石井 賢二 氏

所内一般公開

- 1号館 特設コーナー（2Fロビー）
「食の安全」（輸入食品の放射能測定、照射食品の検査技術の紹介）
- 2号館 実演：サーベイメータによる測定 身近なものを図る
蛍光X線分析、電子顕微鏡・放射線防護、放射線計測
オートラジオグラフィ、イメージングプレート
- 3号館 コバルト照射室、電子線照射室、イオン加速器室
- 4号館 環境放射能測定室

体験・実演

UVアート

他庁舎紹介展示

西が丘庁舎、墨田・八王子庁舎紹介

(3) 墨田庁舎

研究成果紹介、産学公事業・PRパネルの展示

繊維の基礎知識・VTR放映

熱転写プリントの体験（以上実習室）

所内一般公開

墨田分室：引張強さ試験機実演、各種測定装置説明、繊維製品クレーム品、染色堅ろう度等の展示説明

生活科学グループ：デザイン作成システム、型紙作成システム、スポンジング機、サーモグラフィ、光学顕微鏡、丸編機・横編機等の実演、浸染・プリントの説明

(4) 八王子庁舎

ポスターセッション・機器の実演・製品展示等（庁舎内）研究成果紹介パネルの掲示説明・多摩中小企業振興センターの紹介

三宅島関連コーナー：三宅島火山灰プリント体験・三宅島げんき農場

産地の仕事展：多摩地域繊維産業展示

八王子織物工業組合・青梅織物工業協同組合・村山織物協同組合・八王子ファッション協議会

所内一般公開：引張強さ試験・摩耗試験機の実演、繊維製品クレーム品展示説明、染色堅ろう度・耐光試験説明・光学顕微鏡の説明、各種織機の実演・展示、各種撚糸機・組み紐の実演・展示、デザイン作成システム実演、インクジェット捺染システム実演、各種浸染機器の実演、展示、各種編機の実演・展示

印刷物の配布：施設紹介、和、ADI、テクノ東京21、研究結果説明パンフレット

8.4 施設見学

企業・業界団体、都・区の関係部署及び一般都民等からの要望に応じて、団体見学を随時実施し、当所のPRを積極的に行った。

平成16年度の実績は次のとおりであった。（施設公開を除く）

	西が丘庁舎	駒沢庁舎	墨田庁舎	八王子庁舎	合計
件数(件)	329	195	35	71	630
見学者数(名)	1,723	518	498	1,285	4,024

主な見学団体

西が丘庁舎

北京工業大学	(5名)
大分県立大分工業高校	(35名)
埼玉県鍍金工業組合	(15名)
東京商工会議所	(29名)
関東経済局地域経済部	(3名)
中小企業大学校	(54名)
足立区産業経済部	(3名)

駒沢庁舎

帝京大学附属放射線学校	(117名)
都立大学附属高校	(35名)
東京設計管理研究会	(20名)
電気学会	(10名)

墨田庁舎

東京織物卸商業組合	(24名)
繊維関連企業研修	(115名)
ファッション産業人材育成機構	(158名)
繊維学会	(15名)
専門学校・大学・高校	(103名)

八王子庁舎

東京ニット卸協同組合	(76名)
東京タオル卸商業組合	(16名)
東京農工大学工学部附属織物研究会	(22名)
文化女子大服装学部	(91名)
シルクサミット	(70名)
日本化学繊維検査協会	(28名)
八王子市立小中学校総合学習	(161名)

8.5 展示会への出展

当研究所では、研究により技術開発を進めるばかりでなく、企業と共同して製品化に取り組んでいる。これらの成果、特に最近完成したものを主体に、パネルやサンプル、デモ実験、模型の展示などを用いて紹介した。あわせて、研究所が実施している試験・研究・普及事業の内容について説明し、所のPRに努めた。

No	展示会名	主催	開催日	場所
1	ユニバーサルファッション展	東京クリエイターズコレクション実行委員会	平成16年 4月20日(火)	六本木ヒルズ
2	第8回三宅島島民ふれあい集会	第8回三宅島島民ふれあい集会実行委員会	平成16年 5月9日(日)	港区芝浦小学校
3	2004 特許流通フェア in 東京	特許庁、経済産業省関東経済産業局	平成16年 9月29日(水) ～10月1日(金)	東京ビッグサイト
4	テクノ TOKYO フェア 2004 in Shinjuku 新技術・新製品開発のヒントを 産技研から発信!	東京都立産業技術研究所	平成16年 10月4日(月) ～6日(水)	都政ギャラリー
5	産業交流展 2004	産業交流展 2004 実行委員会	平成16年 10月22日(金) ～23日(土)	東京ビッグサイト
6	赤羽技術専門校技能祭	東京都立赤羽技術専門校	平成16年 11月3日(水)	赤羽技術専門校
7	板橋技術専門校技能祭	東京都立板橋技術専門校	平成16年 11月3日(水)	板橋技術専門校
8	全国繊維工業技術協会	第42回全国繊維技術交流プラザ	平成16年 10月14日(木) ～15日(金)	福井県生活学習(福井県)
9	組込み総合技術展	(社)日本システムハウス協会	平成16年 11月17日(水) ～19日(金)	パシフィコ協会
10	第8回いたばし産業見本市	いたばし産業見本市実行委員会	平成16年 11月18日(木) ～20日(土)	板橋区東板橋体育館
11	第6回産業ときめきフェア	江戸川・産業ときめきフェア実行委員会	平成16年 11月19日(金) ～20日(土)	タワーホール船堀
12	第9回三宅島島民ふれあい集会	第9回三宅島島民ふれあい集会実行委員会	平成16年 11月28日(日)	港区芝浦小学校
13	産学公・東京技術交流会	産学公・東京技術交流会実行委員会	平成16年 12月3日(金)	東京都庁第1庁舎
14	あだち異業種フォーラム 2005	あだち異業種連絡協議会	平成17年 2月17日(木)	足立区役所
15	第9回おおた工業フェア	大田区、(財)大田区産業振興協会、(社)大田区工業連合会	平成17年 2月17日(木) ～19日(土)	大田区産業プラザ Pio
16	産学公連携プラザ	(財)東京都中小企業振興公社 多摩中小企業振興センター	平成17年 2月24日(木)	パレスホテル立川
17	地域新生産業創造フェア 2005	経済産業省、関東経済産業局	平成17年 3月3日(木) ～4日(金)	東京国際フォーラム展示ホール

8.6 刊行物

所で発行する刊行物は、外部に向けた情報の発信機能を果たし、企業等への技術情報提供に貢献している。その内容を研究課題ごとに紹介した「研究報告」、研究発表の要旨を記載した「研究発表会要旨集」、特定の専門技術について解説した「技術ガイド」、所の事業をとりまとめた「年報」や「事業概要」など刊行物は多数にわたる。今年度発表した刊行物は次のとおりである。

刊 行 物	登録年月	部 数
平成 16 年度 事業概要	16 年 4 月	650
東京都立産業技術研究所 年報（平成 15 年度）	16 年 4 月	800
東京都立産業技術研究所 研究発表会要旨集（平成 16 年度）	16 年 5 月	600
第 5 回都立産業技術研究所「技術セミナー」要旨集	16 年 8 月	400
東京都立産業技術研究所 研究報告 第 7 号	16 年 9 月	1,100
アパレルデザインインフォメーション(ADI)No.60	16 年 10 月	2,000
平成 15 年度研究所利用に関する調査報告書	16 年 10 月	400
技術ガイド 赤外線・紫外線の利用技術	16 年 11 月	200
第 20 回東京都異業種交流プラザ合同交流会	16 年 12 月	400
繊維パンフレット「織物のはなし」	16 年 12 月	3,000
アパレルデザインインフォメーション(ADI)No.61	17 年 2 月	2,000
繊維技術ハンドブック「染色技術編」	17 年 3 月	2,000
和装インフォメーション「和」No.11	17 年 3 月	1,000

8.7 テクノ東京 21

産業労働局商工関係 6 試験研究機関では、技術情報誌「テクノ東京 21」を毎月 1 回発行しており、当所は原稿執筆及び編集企画で協力している。

平成 16 年度における当所の執筆は、次のとおりである。

発行年月	内 容		所 属	執筆者名
平成 16 年 4 月	トピックス	水素エネルギーシステム	加工技術グループ	内田 聡
	設備紹介	固体表面を調べる～X線光電子分光分析装置～	放射線応用技術グループ	谷口 昌平
	技術アドバイザー制度	ぜひ、ご利用下さい！！ 技術アドバイザー制度	相談広報室相談支援係	安藤 敦子
	研究会参加	研究会への参加を	企画調整課ほか	片桐 正博ほか
	研修講習会	産業技術研究所 研修講習会へのご案内	相談広報室研修担当	須田 廣勝
	所長挨拶	都立産業技術研究所のサービス向上「首都圏テクノナレッジ・ブローエイ」	所長	井上 滉
平成 16 年 5 月	事業紹介	チャレンジ 2004 運動 主な事業		
	研修・講習会紹介	商工関係 6 試験研究機関での、各種研修講習会の開催		
	研究テーマ紹介	主な研究テーマ 共同開発研究の追加募集		
	技術解説	食品への放射線照射とその判別方法	放射線応用技術グループ	後藤 典子
	研究紹介	軽油中低濃度硫黄分の高感度分析方法の開発	資源環境科学グループ	野々村 誠
		地球温暖化を防止する燃料電池	材料技術グループ	上野 博志
平成 16 年 6 月	研究紹介	口腔内検査用カメラ照明装置の開発	情報科学グループ	大畑 敏美
	研究紹介	加工穴による微細軸成形法	加工技術グループ	山崎 実
	技術解説	非破壊検査での傷検出と疑似模様	企画調整課	伊藤 清
	技術解説	快音設計のすすめ	光音計測技術グループ	神田 浩一
	がんばってる中小企業	静電気除去製品の開発に取り組んで 50 年	前電気応用技術グループ	殿谷 保雄
	研究紹介	伝統工芸分野の環境対応 - ベッ甲端材を利用した製品開発 -	製品科学技術グループ	木下 稔夫
平成 16 年 7 月	特集号	中小企業のニーズに応えるよりよい産学公連携をめざして	産学公連携室	伊瀬 洋昭
	研究会紹介	CAD/CAM 研究会	製品科学グループ	前野 智和
	ファッションアイ	2005 年春夏ファッションカラー傾向	八王子分室	藤田 茂
平成 16 年 8 月	研究紹介	低線量放射線の人体影響	放射線応用技術グループ	宮崎 則幸
	研究紹介	絹タンパクを用いた木材の接着	資源環境科学グループ	瓦田 研介
	研究紹介	超高速毎分 30m、超極薄 0.1mm 接合への挑戦	技術試験室	増子 知樹
	研究紹介	複合素材の染色用キャリアーの性能評価	墨田分室	藤代 敏
	研究紹介	導電性繊維の消費性能	墨田分室	松澤 咲佳
	施設公開	産業技術研究所 (西が丘庁舎 駒沢庁舎) を 9 月に公開します	相談広報室 駒沢分室	
		測定は、ものづくりの基本 - 精密測定機器の紹介 -	加工技術グループ	樋田 靖広
平成 16 年 9 月		テクノTOKYO フェア 2004in Shinjuku を開催します	相談広報室	
	研究紹介	生分解性プラスチックと植物繊維の複合材料	資源環境科学グループ	宇井 剛
	研究紹介	CVD ダイアモンド膜の研磨に関する研究	加工技術グループ	横沢 毅
	技術解説	プラスチック中の RoHS 指令規制物質の分析法の現状	材料技術グループ	進藤 良夫
	設備紹介	蛍光 X 線膜厚計	資源環境科学グループ	吉本 圭子
	施設公開	産業技術研究所施設公開 (繊維分野) のお知らせ	墨田分室	川崎 顕

発行年月	内 容		所 属	執筆者名
平成 16 年 10 月	研究紹介	アクティブ RFID によるコピキタスコンピューティング	情報科学グループ	大林 真人
	研究紹介	金属材料による微小電子機械 (MEMS) の一体成形に関する研究	加工技術グループ	森河 和雄
	技術解説	歩行者 ITS が実現する福祉社会	エレクトロニクスグループ	大原 衛
	技術解説	アクティブノイズコントロールの現状とこれから	光音計測技術グループ	高田 省一
	技術解説	プラスチックの脆性破壊を防止する	材料技術グループ	清水 研一
	技術解説	古紙リサイクルのすすめ	製品科学グループ	島田 勝廣
	ファッション・アイ	ティアードルック	生活科学グループ	小高久丹子
平成 16 年 11 月	事業紹介	技術審査業務のご紹介 専門分野の厳正な審査 評価で産業の活性化	企画調整課	小池 茂幸
	事業紹介	産業技術研究所の特許をご利用ください	企画調整課	桜井 守
	技術解説	バイオ・ナノ技術開発の世界動向とプロジェクトの取組み	バイオ・ナノ技術開発プロジェクト	楊 振
		こんなナノテク :X 線顕微鏡	放射線応用技術グループ	金城 康人
平成 16 年 12 月	研究紹介	金属糸で立体的な織物の製造に成功	八王子分室	樋口 明久
	技術解説	CAE の生体 (医)工学への展開	製品科学グループ	大久保富彦
	トピックス	インターネットの高速化と健全な活用を支えるための研究開発	情報科学グループ	坂巻佳壽美
	研究会活動	資源環境技術研究会	資源環境科学グループ	長谷川明良
	研究会紹介	PC 情報研究会	情報科学グループ	横田 裕史
	研究会紹介	ドライ加工研究会	加工技術グループ	片岡 征二
	設備紹介	サーモグラフィ	生活科学グループ	黒田 良彦
平成 17 年 1 月	研究紹介	鉛を使わない放射線遮へい材の開発	駒沢分室	鈴木 隆司
	研究紹介	リサイクル鋼の高温加工特性改善	材料技術グループ	上本 道久
	研究紹介	自動植毛装置の開発	エレクトロニクスグループ	山本 克美
	技術解説	極微量の分子を測るー多光子イオン化 飛行時間型質量分析法ー	放射線応用技術グループ	中川 清子
	ファッション・アイ	- 少女のように -	生活科学グループ	小高 久丹子
平成 17 年 2 月	技術解説	工芸品から先端技術まで!スクリーン印刷の応用	製品科学グループ	伊東 洋一
	技術解説	耳式体温計の最近の動向	技術試験室	尾出 順
	技術解説	ナノ粉碎技術	加工技術グループ	柳 捷凡
	研究紹介	脚の屈曲動作を再現できる脚形疲労試験機	生活科学グループ	大泉 幸乃
	設備紹介	輝度分布測定装置	光音計測技術グループ	実川 徹則
		電気メステストの開発と普及	エレクトロニクスグループ	岡野 宏
平成 17 年 3 月	研究紹介	中高年の体型変化に対応した男性用スラックスの製品開発	生活科学グループ	藤田 薫子
	研究紹介	産業用不織布の防カビ加工	資源環境科学グループ	宮崎 巖
	技術解説	繊維製品の変色原因と対策	墨田分室	藤代 敏
	技術解説	繊維製品の顕微鏡によるクレーム解析	八王子分室	池田 善光

8.8 資料収集

試験、研究、指導事業の実施において技術資料の収集・活用は欠くことができないものである。このため、国内外の専門誌・図書・技術文献等を購入すると共に、国、地方自治体、業界団体、大学、企業ならびに東京都の主に研究機関を含む関係機関から寄贈を受けたものを所内各部門の利用に供している。

平成 17 年 3 月現在の蔵書数・学術雑誌等は次のとおりである。

	西が丘庁舎	駒沢庁舎	墨田庁舎	八王子庁舎
蔵書数 (冊)	49,820	14,623	3,326	3,248
内訳				
和書 (冊)	33,528	5,953	3,132	3,018
洋書 (冊)	16,292	8,670	126	203
受け入れ雑誌	880	142	104	138
内訳				
購入和雑誌 (種)	73	2	52	23
寄贈和雑誌 (種)	774	137	45	108
購入洋雑誌 (種)	33	3	7	7
欧文雑誌 (種)	33	13	7	8
和文雑誌 (種)	847	129	97	131

8.9 図書管理

収集した資料は分類、整理、製本、登録等の後、配架して利用に供している。

平成 16 年度に入庫処理した冊数は下記のとおりである。

区分	内外	西が丘庁舎 冊数 (冊)			駒沢庁舎 冊数 (冊)		
		購入	寄贈	計	購入	寄贈	計
図書	国内	266	0	266	33	6	39
	外国	58	0	58	0	0	0
雑誌	国内	997	1,602	2,599	24	407	431
	外国	221	0	221	89	0	89
合計		1,542	1,602	3,144	146	413	559

区分	内外	墨田庁舎 冊数 (冊)			八王子庁舎 冊数 (冊)		
		購入	寄贈	計	購入	寄贈	計
図書	国内	45	17	62	27	1	28
	外国	0	0	0	0	1	1
雑誌	国内	272	253	525	268	217	485
	外国	104	0	104	38	0	38
合計		421	270	691	333	219	552

8.10 インタ - ネット・ホ - ムペ - ジ

所の事業・成果を広く普及するために、平成9年度からホ - ムペ - ジを開設している。随時、内容を充実し、効果的な広報と使い易さの向上などに努めている。

今年度は更新頻度を高めるとともに、「関連情報」の欄を設け産業労働局の事業や東京都中小企業振興公社の情報なども積極的に掲載して利便性の向上を図った。

アクセス件数は、開設当初は年間で5千件未満だったが、16年度末の累計では約40万件となり、年間アクセス件数は約11万3千件（前年比110%）となっている。

掲載している内容の項目は下記のとおりである。

最新情報	設備一覧
ご相談・支援	産学公連携
依頼試験・開放利用	交流事業紹介
研修講習会・行事・見学	刊行物
当所の公開特許	リンク集
研究紹介	アクセス
組織紹介	事業紹介
相談コーナー	ご意見・ご要望



英文のホ - ムペ - ジには、以下の内容を掲載している。

研究所の概要

各庁舎の概要

産業技術研究所のホ - ムペ - ジアドレス（URL）は以下のとおり。

URL <http://www.iri.metro.tokyo.jp/>

8.11 ニュースレター・メールニュース

1) ニュースレター

当研究所のトピックス、特徴的なニュースを配信しています。

No	配信日	内 容
19	H15.5.10	年間1,000件の技術審査業務をおこなっています
20	7.7	共同開発研究で新技術・新製品つぎつぎに
21	8.18	産業技術研究所、一般公開迫る！
22	9.24	テクノ東京フェア2004 in Shinjukuを都民ホールで開催します
23	11.17	中小企業の損害額2億円を回避
24	12.22	企業ニーズに応える産学公連携事業の成果
25	H16.2.07	産技研利用による経済効果173億円
26	3.4	東京都ナノテクノロジーセンターがオープン
27	3.30	放射線照射食品検査技術を実用化

2) 産技研メールニュース

当所の刊行物の紹介、研修・講習会の募集、イベントのお知らせなどを配信しています。

号	配信日	内 容
20	H15.4.15	(1) 新年度にあたって 所長 井上 滉
		(2) 産業技術研究所組織の改変
		(3) 研修・講習会のご案内
		(4) 産業技術研究所に関する新聞掲載記事
		(5) テクノ東京21 3月号の発行
臨時号	4.21	(1) 大学シーズの活用及び助成金の活用をお考えの皆様へ
		(2) 第4回ビジネスプランコンテスト・イン・ジャパン
21	5.10	(1) 東京都異業種交流グループ募集のご案内
		(2) 「東京ものづくり名工塾」塾生募集について
		(3) テクノ東京21 4月号の紹介
		(4) メールニュース担当より
22	5.21	(1) 研究発表会のご案内 / 東京都立産業技術研究所
		(2) セミナー開催のご案内 / 城東地域中小企業振興センター
		(3) テレビ放映のご案内
23	6.10	(1) 研究発表会のご案内 / 東京都立産業技術研究所
		(2) 研修・講習会のご案内
		(3) テクノ東京21 5月号の紹介
24	7.7	(1) 研修・講習会のご案内
		(2) テクノ東京21 6月号の紹介
		(3) 「産業ときめきフェア in EDOGAWA」出展企業募集のご案内
25	7.8	研修・講習会のご案内
26	7.30	(1) 研修・講習会のご案内
		(2) テクノ東京21 7月号の紹介

号	配信日	内 容
27	8.19	(1) 施設公開のご案内
		(2) 研修・講習会のご案内
		(3) 会社法改正説明会のご案内
臨時号	8.30	ものづくり夢ステージ 2004in 航専のご案内 城東地域を中心とする東京の中小企業の躍進をめざして
28	9. 1	産業交流展 2004 出展のご案内 東京から世界へ！販路開拓市
29	9. 3	産業交流展 2004 出展のご応募ありがとうございました
30	9. 9	(1) テクノ東京フェア 2004 のご案内
		(2) 施設公開（繊維技術分野）のご案内
		(3) 研修・講習会のご案内
		(4) テクノ東京 21 8月号の紹介
31	9.16	(1) 研修・講習会のご案内
		(2) 産学官連携事業のご紹介
32	9.27	(1) テクノ東京フェア 2004 のご案内
		(2) 施設公開（繊維技術分野）のご案内
		(3) 研修・講習会のご案内
33	10.13	(1) 研修・講習会のご案内
		(2) テクノ東京 21 9月号の紹介
		(3) ビジネスフェア from TAMA のお知らせ
34	10.20	(1) 研修・講習会(募集中)のご案内
		(2) 東京都知的財産総合センター主催セミナーのお知らせ
35	10.29	(1) 「産学公・東京技術交流会」のお知らせ
		(2) 研修・講習会(募集中)のご案内
		(3) テクノ東京 21 10月号の紹介
36	11.09	(1) 研修・講習会(募集中)のご案内
		(2) 「商品デザイン特選マーケット」のお知らせ
37	11.15	*** 第8回いたばし産業見本市のお知らせ ***
38	11.22	(1) 平成 17 年度創造法助成金を希望される方へ・・・お知らせ
		(2) 東京都知的財産総合センター主催セミナーのお知らせ
39	12.01	(1) テクノ東京 21 11月号の紹介
		(2) 科学技術交流会のお知らせ
40	12.10	(1) 研修・講習会（募集中）のご案内
		(2) 産技研職員の受賞・表彰
41	12.15	*** 東京オリジナルプロダクツフェアのお知らせ ***
42	H17.1.07	(1) 研修・講習会（募集中）のご案内
		(2) テクノ東京 21 12月号の紹介
		(3) 第2回広域関東圏ナノテクビジネス交流会のお知らせ
43	1.13	(1) 研修・講習会（募集中）のご案内
		(2) 東京都知的財産総合センター主催セミナーのお知らせ

号	配信日	内 容
44	1.27	(1) 研修・講習会(募集中)のご案内
		(2) 第20回東京都異業種交流グループ合同交流会開催のご案内
		(3) ADI 2005 春夏号の紹介
		(4) 和装情報誌 No10 の紹介
45	2.02	(1) 研修・講習会(募集中)のご案内
		(2) 新加工技術セミナーのお知らせ
46	2.07	(1) 研修・講習会(募集中)のご案内
		(2) テクノ東京 21 1月号の紹介
		(3) 「東京都ナノテクノロジーセンター開設記念講演会」のご紹介
47	2.17	(1) 平成17年度共同開発研究の募集
		(2) ADI 2005 秋冬号 No61 の紹介
48	3.07	(1) 東京都ナノテクノロジーセンター開設のお知らせ
		(2) テクノ東京 21 2月号の紹介
49	3.10	(1) 研修・講習会(募集中)のご案内
		(2) 東京都産学公連携成長企業発掘支援事業説明会のお知らせ
50	3.24	(1) 和装情報誌 No11 の紹介
		(2) テクノ東京 21 3月号の紹介
51	3.30	経済産業省からのお知らせ 「エネルギー使用合理化事業者支援事業」

8.12 マスコミ報道

1) テレビ・ラジオ報道

報道日	番組名	内容
H16.5. 3	テレビ東京 TOKYO最新レポート	ものづくり支援について
5. 5	毎日放送「あったか生活！秘伝！家庭の魔法」	番組で実施される内容の裏付け（圧縮試験等）
5.19	MXテレビ異業種交流グループの募集	異業種交流グループ募集について
7.26	テレビ朝日 ニュース	落雷実験について
7.27	テレビ朝日 ニュース	落雷実験について
8.25	毎日放送「あったか生活！秘伝！家庭の魔法」	番組で実施される内容の裏付け（引張り試験等）
10.17	すみだのまちまち（ケーブルテレビ）	すみだファッションセンターと墨田庁舎の紹介
10.15	MXテレビ東京インフォメーション	八王子・墨田庁舎施設公開について
11.15	テレビ東京 東京都提供番組「オっと！」	産学公コーディネート事業の成果について
12. 2	毎日放送 スパスパ人間学	番組で実施される内容の裏付け（圧縮負荷試験等）
H17.1.26	MXテレビ東京インフォメーション	東京都異業種交流会

2) 新聞・雑誌報道

報道日	新聞・雑誌名	内容
H16.4.5	近代縫製新聞	都民を守る避難服 製造業へアイデア提供
4.22	読売新聞	青梅縞よみがえらせた
4.26	日刊工業新聞	職人技 電球づくりで体験
5. 8	毎日新聞	中小企業異業種交流会
5.11	日刊工業新聞	中小企業異業種交流会
5.13	精密工学会誌	三宅ガラスジュエリーから世界一耐食性の高いガラスまで
5.15	新しい風	地域の産業を支える産業技術研究所の紹介
5.18	月刊誌 R M MODELS	CAD/CAM研究会自主セミナーについて
5.18	月刊誌「とれいん」	CAD/CAM研究会自主セミナーについて
5.28	都政新報	若手職員による研究発表
6. 1	北区ニュース	都立産業技術研究所 研究発表会
6. 1	広報東京都	都立産業技術研究所 研究発表会
6. 7	全国商工新聞	有害物資の吸着能力をもつ炭素系パネルの作製
6.15	産業立地	産学公連携による地域振興の課題と展望
6.22	都政新報	都立産業技術研究所 研究発表会
6.25	日本経済新聞社	中小企業との共同開発研究について
6.30	鍍金の世界	クエン酸ニッケルめっき浴からの光沢めっき

報道日	新聞・雑誌名	内 容
7. 1	日本表面処理新聞	排水中のふっ素除去法
7. 5	帝国タイムス	都内中小企業の技術を幅広くサポート
7. 9	プレス技術	インタビュー ドライ加工
8. 2	鍍金の世界	都立産業技術研究所 研究発表会
8. 4	日本繊維新聞	目指せ「ニットの専門家」若手・中堅社員の勉強会開く
8. 4	織研新聞	繊維製品製造工程の見学会
8. 6	健康産業新聞	放射線フォルミシス
8.10	クリーニング流通新聞	よくわかるシミ抜き剤
8.13	都政新報	都政のシンクタンクへ 連携施策推進会議が発足
H16.8.18	センイ・ジャーナル	東京ニット卸商組合 人材の育成に積極的な姿勢
8.27	日経産業新聞	絹タンパク使い接着剤
9. 1	鍍金の世界	世界で初めてのクエン酸ニッケルめっき浴の開発と新しい電折機構の提案
9. 1	医理産業新聞	施設公開（西が丘・駒沢）
9. 1	日刊工業新聞	先端計測分析技術・機器開発事業
9. 2	日刊工業新聞	先端的質量分析装置開発に着手
9. 3	センイジャーナル	美脚・美ウエストパンツ 中高年向け販売へ
9. 3	日刊工業新聞	停電時も2時間光る 産学官で開発
9. 6	日刊工業新聞	独自の加工領域を生み出す 放電加工機
9. 8	日刊工業新聞	施設公開（西が丘）
9.10	アーガス21	テクノTOKYOフェア2004in Shinjuku
9.10	クリーニング流通新聞	続 よくわかるシミ抜き剤
9.15	新しい風	共同開発研究で超極細温度センサ
9.15	UNIFA	ユニバーサルファッション製品の企画開発研究会
9.25	東商新聞	産学公連携を支援する「東商テクノネット事業・見学交流会」
9.29	日本繊維新聞	挑む、川中新時代
10. 1	広報東京都	テクノTOKYOフェア2004in Shinjuku
10. 1	広報東京都	施設公開（八王子・墨田）
10. 4	織研新聞	青梅ほぐしを使った夜具販売
10. 5	日本クリーニング新聞	繊維上のカビ色素汚染の除去
10. 6	WEBジャーナル	バナナの茎を繊維素材にリサイクル
10. 6	農林水産技術研究ジャーナル	バナナの廃材を利用した紡績糸および織物
10.11	墨田インフォメーション	施設公開（墨田）
10.12	新宿区商工だより	テクノTOKYOフェア2004in Shinjuku
10.12	子供の科学	施設公開（西が丘）
10.13	読売新聞	施設公開（八王子）
10.16	読売新聞	屋上緑化 水やり自動化
11. 4	日経産業新聞	植物繊維加え丈夫に
11.15	毎日新聞	産学連携で独自技術開発
11.17	電波新聞	エンベデッド・テクノロジー2004（311社が624小間に）
11.26	都政新報	「エコノミークラス症候群の研究など」34件

報道日	新聞・雑誌名	内 容
12. 7	都政新報	「局の屋台骨、背負っているのは技術職」
12.13	金属産業新聞	「ねじの品質・動向」テーマに
12.14	都政新報	ナノテク 都が産官学で共同研究
12.15	新しい風	ご存じですか？ 中小企業応援団 都立産業技術研究所利用に関する調査
12.21	都政新報	都立産業技術研究所 コンソーシアムの管理法人に
H17.1. 6	月刊 ねじの世界	ねじの製品の品質管理と最近の動向
1.13	日刊工業新聞	東京都異業種交流会
1.21	ねじ	タッピンねじ用締付け試験機の開発
1.24	日刊工業新聞	地元中小核に MEMS で産学連携
1.26	日本経済新聞社	東京都異業種交流会
H17.1.27	鍍金の世界	工場排水中のふっ素の除去
2. 8	都政新報	温度計測で「オーム技術賞」受賞
2. 9	鉄鋼新聞	鉛フリー放射線遮蔽材を開発
2.17	日経産業新聞	放射線遮蔽材 ゴムで変形容易
2.18	都政新報	独立行政法人化へ正式準備
2.25	都政新報	都ナノテクノロジーセンター開設
3. 1	医理産業新聞	都産技研 共同開発研究テーマ募る
3. 1	医理産業新聞	都産技研・共同開発研究成果
3. 4	日刊工業新聞	東京都 製造業連携を本格支援
3. 4	都政新報	日本初、照射食品検査実用化に成功
3.11	都政新報	労働経済事情・カレントトピックス
3.15	日刊工業新聞	東京都産技研の中小のデザイン力強化
3.15	建材フォーラム	都産技研 接着剤のVOC対策を中心に研修
3.30	朝日新聞	コウノトリに飛行抑制装置 開放飼育へ実験